



左から瑛大選手、優真選手



# 川口魅力発見 / vol.3 市長が聴く

Discover the charm of Kawaguchi City

全日本ランバイク選手権シリーズ2025

## 川野 瑛大 選手 大谷 優真 選手



ペダルやチェーンがなく地面を足で蹴って進む子ども用二輪車の「ランバイク」。全日本ランバイク選手権シリーズ2025に出場した本市在住の川野瑛大選手（6歳）は年間総合優勝、大谷優真選手（3歳）は第3位に輝きました。今回は、ご本人とご家族にお話を伺いました。

**市長** 川野瑛大選手、大谷優真選手、おめでとうございます。早速ですが、ランバイクとの出会いやきっかけを聞かせてください。  
**瑛大** 祖父のプレゼントがきっかけです。瑛大が2歳のころSNSでレースがあることを知り地元でレースに出場し、4歳からは競技として本格的に始めました。  
**優真** 先に姉の優奈が始めており、その影響で1歳半から始めました。  
**市長** 全日本選手権は何人ぐらいの選手が参加するのですか。  
**優真** 同選手権では年齢別にクラスがあり各50〜80人ほどの参加者がいます。  
**市長** その中で年間総合優勝と第3位はすごいことですね。（車体を見て）これがランバイクですか。ものすごく軽いですね。  
**優真** フレームはカーボン製です。スピードメーターも付いています。  
**市長** どのくらいのスピードが出るのですか。  
**瑛大** 時速27キロくらいは出ます。



先頭が瑛大選手

**市長** すごいスピードが出るんですね。コースは直線だけではないですね。  
**優真** コースは当日に主催者がカラーコーンやバーで直線やコーナーを織り交ぜて作ります。ですので、その場で作戦を立てながらレースに臨みます。  
**市長** いろいろな状況を想定しないといけないのでそれは大変ですね。よく見るとブレーキが付いていませんよね。  
**瑛大** 足をブレーキにして止めます。  
**市長** 足で止めるんですね。そのような練習もするのですか。  
**優真** レースでは地面に足をつけると遅くなってしまいますので、足をつけずにカーブを曲がる練習をします。

**市長** スピードを出しながらコーナーに入っていくのは怖くないですか。  
**瑛大** 怖いときもあります。  
**優真** 怖くは怖くないです。  
**市長** 優真選手が始めたきっかけとなった姉、優奈選手は、女子の部で出場するのですか。  
**優真** 大会によっては女子の部もありますが、全日本選手権では男女混合です。  
**市長** 優奈選手はランバイクのどのようなところが楽しいですか。  
**優奈** いっぱい練習して1位を取るのが楽しいです。  
**市長** 1位を取るとうれしいですよね。練習は弟の優真選手と一緒にしているのですか。  
**優奈** そうです。一緒に練習しています。優真は強いと思います。  
**市長** 練習は、いつしていますか。



先頭が優真選手

**瑛大** 平日の夜にお父さんと練習しています。  
**優真** 平日は個人練習を、週末は練習会に参加しています。  
**市長** それはご家族のサポートが必要となりますね。  
**瑛大** 平日も練習に行けるように私が仕事から帰って来るまで、妻が食事や学校の宿題などを済ませてくれています。  
**優真** 我が家も同じような感じですが、家族がランバイクを通して団結している感じがします。  
**市長** 瑛大選手は日本一になりましたが、次の目標はありますか。  
**瑛大** これからもたくさん優勝をしていきたいです。  
**市長** それは頼もしいですね。大会前日や当日に緊張しますか。  
**瑛大** 緊張することもありますが、レースで気を付けていることはあります。  
**市長** できるだけ転ばないように気を付けています。  
**市長** 優真選手はランバイクのどのようなところが楽しいですか。  
**優真** 優勝するとみんながぼくに手を振ってくれるところです。  
**市長** 一生懸命に練習して優勝すると、みんなからおめでとうって言ってもらえるから、もっと頑張ろうって気持ちになれますよね。本市の未来を担う子どもたちがこうして活躍してくれることは、まちの活力にもなります。スポーツで本市を盛り上げていけたら良いと思っていますので、今後の活躍を期待しています。本日はありがとうございました。